



校長通信

令和5年度26号 令和5年12月22日

和歌山市立河北中学校 校長 戸川定昭

《2学期終業式を実施しました！》

12月22日、2学期終業式を実施しました。と言っても、この原稿を書いているのは、その前日です。式で、子供たちに話す内容を、ここに記しますので、各ご家庭で話題にしていただければ幸いです。

(2学期終業式 式辞)

長かった2学期も今日で終了です。8月25日の始業式で、みなさんに、2学期は、体育大会、文化祭、持久走大会と行事もあります。日頃の授業を大事にしながら、行事を通して、様々なことを学んでほしいと話をしました。

2学期を思い起こしてください。様々なことを学ぶことができましたか？体育大会、個人競技では、個々の力を精一杯出して、団体競技では仲間と協力して取り組む姿が見られました。文化祭でも、校外学習や日頃の授業の成果をまとめた作品が展示されました。学習の成果をまとめることは、学んだことを更に深める大切な学習活動です。また、他の生徒の成果物を見学することは、学びの視野を広げます。舞台発表では、生徒会役員が、華やかなダンスを披露してくれましたし、吹奏楽部は、息の合った素敵な演奏を披露してくれました。とても楽しく、充実した文化祭でした。持久走大会も、全員完走で、力走してくれました。ということで、私から見て、生徒の皆さんは、この2学期、多くのことを学んでくれたと思っています。

ただ、残念なこともありました。登下校のマナーの悪さに、地域の方から苦情の電話を受けたこと。授業中、机にうつぶせて前向きに学習できない人もいました。不適切なスマホの使い方指導する事もありました。3学期に向けての課題です。

来年は、どのような年にしたいですか。辰年生まれの私は、年男です、還暦を迎えます。健康に留意しながら、様々なことにチャレンジしていこうと思っています。春に、京都で剣道8段審査、2回目の挑戦もする予定です。

ここで、月刊・教職研修12月号で、岡山市の元校長先生のコラムに感銘を受けたので、わたしなりに解釈して紹介します。江戸時代の有名な俳人、小林一茶の句に「かたつむり そろそろ登れ 富士の山」というのがあります。小さくて、動きの遅いなかたつむりですが、仮に1時間で50センチ登るとすると、1日10時間登って、富士山の3776メートルの頂上まで、756日で到着します。自分のペースで、ゆっくり、着実に歩いて行けば、日本一の富士山の頂にも到着できるということを、一茶は俳句にしたのでしょう。みなさん、かたつむりになりましょう。そして自分のペースで一步一步、進んで行きましょう。(日頃から私がよく話している、物事を終えても、油断せず、振り返る「残心」の精神もお忘れなく！)



来年、3学期の始業式で、元気な姿でまた会えることを楽しみにしています。

以上、式辞の内容です。本番では、その時の雰囲気でも多少内容が変更することもあるかもしれませんが、上記のような内容を話すつもりです。最後に、2学期間、本校の取組にご協力いただきありがとうございました。来年も、よろしくお願ひします。良いお年を！

